

## 東京国際映画祭 2021 で上映された話題作 映画『夜を越える旅』の劇場公開及び舞台挨拶について

福岡フィルムコミッションが支援した映画『夜を越える旅』は、  
**SKIP シティ国際 D シネマ映画祭 2021<sup>※1</sup>**において**優秀賞と観客賞を W 受賞**  
**東京国際映画祭 2021<sup>※2</sup>**や**富川<sup>フチオン</sup>国際ファンタスティック映画祭 2022(韓国)<sup>※3</sup>**で上映された  
福岡を拠点に活躍する萱野監督の話題作です。

福岡市内では、和田宝満公園(福岡市南区)、牧のうどん今宿店等で撮影が行われました。

上映初日(11/18)から1週間は**萱野孝幸監督**らによる**舞台挨拶**が実施されます。  
また、さらに**上映初日(11/18)**は**プレス席を用意**しており、  
併せて**囲み取材**の機会を設けていますので、ぜひ**取材をお願い致します**。

【上映場所】KBC シネマ

【上映日】11月18日(金)～11月24日(木)(予定)



KBC シネマホームページ

【囲み取材日時等】

●日時:11月18日(金) 18:00～19:25 本編上映  
19:25～19:45 舞台挨拶  
19:45～19:55 囲み取材

●登壇者[予定]

萱野孝幸監督、高橋佳成さん(主演)ら他数名

※取材希望の方は**11月17日(木)までに**、  
下記【映画・舞台挨拶に関するお問い合わせ先】までご連絡ください。



©αPRODUCEJAPAN/KAYANOFILM

### 【作品概要】

漫画家志望の春利は、大学を卒業しても夢を諦めきれず、同棲中の恋人の半ばヒモ状態。そんな後ろめたさから逃げ出すように、学生時代の友人たちと1泊2日の旅行に出かけるのだが、その最中、応募していた漫画賞の結果が落選だったことを知り自暴自棄になってしまう。そこへ、かつて思いを寄せていた小夜が遅れて合流してくるのだが、春利の微かな高揚感と淡い下心とは裏腹に、事態は思いも寄らない阿鼻叫喚の地獄へと転がり始めてゆく。



「夜を越える旅」ホームページ



### ■萱野孝幸監督について

福岡を中心に映像制作を行っている監督。九州大学芸術工学部卒業。映画『カランデイバ』(18)で長編監督デビュー。以後、映画『電気海月のインシデント』(19)などを発表。20年には、ユナイテッドシネマ キャンナルシティ 13 で「萱野孝幸コレクション」が上映される。本作でも九州出身の俳優を数多く起用し、地方からの発信にこだわりを持つ。23年にも新作の上映をひかえる。

#### ◆ このリリースに関するお問い合わせ先 ◆

福岡フィルムコミッション事務局  
担当：宮崎、古瀬 (こせ)  
TEL 092-733-5171  
Mail contents.EPB@city.fukuoka.lg.jp

#### ◆ 映画・舞台挨拶に関するお問い合わせ先 ◆

○配給：アルファプロデュース (担当：相川)  
TEL 090-4475-9635  
Mail masumi-a@apjqqsyu.com

※1

**SKIPシティ国際Dシネマ映画祭**



2004年に埼玉県川口市で誕生した、デジタルシネマにいち早くフォーカスした国際コンペティション映画祭。映画産業の変革の中で新たに生み出されたビジネスチャンスを掴んでいく若い才能の発掘と育成を主軸とし、“若手映像クリエイターの登竜門”に位置付けられている。

2021年度は、104か国と地域から、合計1,084本の応募があった。

※2

**東京国際映画祭**



公益財団法人ユニジャパンが主催する、日本で唯一の国際映画製作者連盟（FIAPF）公認の長編映画祭でアジア最大級。毎年10月下旬頃に東京で開催。

2021年度は、コンペティション部門へ113か国と地域から、合計1533本の応募があった。

※3

**富川国際ファンタスティック映画祭**



韓国北西部の都市、富川市で開催される国際映画祭。

アジアを代表するジャンル映画祭として「ラブ、ファンタジー、アドベンチャー」をテーマに掲げ、毎年約300作品が11日間にわたって上映される。

悪夢もまた、夢。

# 夜を越える旅

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭 観客賞&優秀作品賞W受賞  
東京国際映画祭公式主映作品  
プチョン国際ファンタスティック映画祭正式出品

高橋佳成 中村祐美子 青山貴史  
AYAKA 桜木洋平 井崎藍子 荒木民雄  
監督・脚本・編集：菅野孝幸

撮影監督：宗大介 音楽監督：地福聖一 照明：宇サマヲ・和田匠也 美術：樋口マコト 漫画作画：SHINPEI a.k.a. Peco  
音楽：松下雅史 助監督：長谷川ネツ 制作：夏井・プロデューサー：相川諒寿美  
配給：アルファ・プロデュース、クロックワークス 2021年 日本 カラー シネマスコープ / 81分

© α PRODUCE JAPAN / KAYANO-FILM

これは、おぞましくも切ない、モラトリアム奇譚。

# 恋に囚われ、夢に惑う。

## 予測不能、阿鼻叫喚、一夜の地獄巡り。

和やかな雰囲気が進む旅行の風景が、主人公・春利のかつての想い人・小夜の登場で一変する。その驚きに満ちた物語と巧みな演出は多くの観客を魅了し、世界中の映像作家が集うSKIPシティ国際Dシネマ映画祭2021において、観客賞と優秀作品賞をW受賞する快挙を達成!更には、東京国際映画祭、プチョン国際ファンタスティック映画祭で公式上映されるなど、映画ファンの間で大きな話題を呼んだ本作。九州・佐賀県を舞台にそんな〈予測不能のロードムービー〉を作り上げたのは、九州を中心に映像制作を行ってきた俊英・萱野孝幸監督。近年、世界各国で制作拠点の地域差にとられない映画作りが進みつつあるが、彼もその一人。九州大学芸術工学部画像設計学科卒業後、福岡を拠点に多彩な表現活動を行ってきた。本作でも、主演を務めた春利役の高橋佳成をはじめ九州出身の俳優を数多く起用するなど、地方からの発信にもこだわりを持つが、その才能は今や九州から日本を越え熱い注目を浴びている。



漫画家志望の春利は、大学を卒業しても夢を諦めきれず、同棲中の恋人の半ばヒモ状態。そんな後ろめたさから逃げ出すように、学生時代の友人たちと1泊2日の旅行に出かけるのだが、その最中、応募していた漫画賞の結果が落選だったことを知り自暴自棄になってしまう。そこへ、かつて思いを寄せていた小夜が遅れて合流してくるのだが、春利の微かな高揚感と淡い下心とは裏腹に、事態は思いも寄らない阿鼻叫喚の地獄へと転がり始めてゆく……。

高橋佳成 中村祐美子 青山貴史 AYAKA 桜木洋平 井崎藍子 荒木民雄  
監督・脚本・編集:萱野孝幸

撮影監督:宗大介 音響監督:地福聖二 照明:3カメラ:和田直也 美術:樋口マンゾ 漫画作画:SHINPEI a.k.a. Peco

音楽:松下雅史 助監督:長谷川テツ 制作:夏目 プロデューサー:相川満寿美

配給:アルファ・プロデュース、クロックワークス 配給:2021年/日本/カラー/シネマスコープ/81分

© alpha PRODUCE JAPAN / KAYANO FILM

## 夜を越える旅

<https://klockworx-v.com/yoruko/> @yorukoemovie



2022年10月21日(金)  
新宿武蔵野館ほか全国順次公開